

開幕戦から車両スイッチでの参戦、粘りの走りで15位フィニッシュ

T2 FACTORYは「GR86/BRZ Cup」に参戦しております。本レースの前身である「86/BRZ Race」を含み2019年のチーム開設時より参戦を継続しており、チーフエンジニアの大橋孝行が組み上げた56号車「栃木トヨタ T2FACTORY BS GR86」に社員ドライバーの鶴賀義幸が搭乗し参戦しています。加えて、毎戦ごとに各店舗からエンジニア2人がメカニックとして帯同し、活動内で整備技術を磨いています。

5月16日(土)～17日(日)に、今季の第2戦が宮城県のスポートランドSUGO(以下、SUGO)で開催されました。4月5日(日)の開幕戦で激しいクラッシュを喫した車両は修復に時間がかかるため、今大会は以前使用していた旧車両にパーツを移植しての参戦でした。14日(木)から走行を開始し、車両状態とコースの確認を行いました。週末は晴れ予報で、本番までに走行可能な計4本の練習走行枠のうち、2本目で雨が降りテスト条件が変わったため走行をやめました。練習時間が減り不安は残りましたが、強い日差しが照り付けた15日(金)、4本目の走行で良い感触を掴み、同様に気温の気温の上昇が見込まれる予選に向けての対策を練ることができました。

16日(土)の予選は、予報通り夏日となり前日とほぼ同じコンディションで行われる予定でした。しかし直前に行われていたクラブマンクラスの予選中、アクシデントによりコース上にオイルが散乱し、除去処理に時間がかかったため急遽レースの開始時間が2時間ほど遅れ16時になりました。これによって気温や路面コンディションを、事前のデータからは読み切れなくなりました。

予選20分間のうち当チームは残り10分でアタック走行を開始しました。日が傾き気温が下がり、予選では経験していないコンディションでの走行でしたが1分35秒610とほぼ専有走行時と同じタイムを計測し、暫定5位につけました。その後、終了間際に次々と他チームがアタックを開始し、順位は後退していき最終順位は19位でした。トップから14位のチームまでが昨年のコースレコードを塗り替え、さらに21位までのタイム差が1秒以内とハイレベルな予選でした。まずまずのタイムでしたが、同じ車両を用いてドライ路面でSUGOを走行した一昨年より、公式計測で1秒近く自己ベストタイムを更新しており、チームの確かな前進を感じることができました。



17日(日)、決勝レースは予定通りの16時に開始されました。前日の予選よりさらに暑さは増し、過酷なレースとなりました。後方19位グリッドからのスタートでしたが、前方数台のスタートミスにより順位を2つ上げて1周目を終えました。前半に勝負をかけつつ最後までタイヤを守るセッティングがうまく決まり、良いペースを保っていましたが、道幅が狭く抜きにくいSUGO特有のコース形状により膠着状態となり、前方のペースが上がらない車両と後方から追い上げる車両の間に、走行車列が圧縮されていきました。厳しい接近戦のなかで、第4コーナー先で行き場をなくしコースアウトを喫してしまい、24位まで順位を大きく落としました。しかし、単独走行でのパフォーマンスは悪くなく、その後はペースを立て直し、追い抜きも見せながら19位まで順位を戻してチェッカーフラッグを受けました。レース後、複数回の4輪脱輪(コースアウト)走行によるペナルティが複数台に課せられ、結果は繰り上がりの15位でした。

今回の活動も、2名のエンジニアが参加しメンテナンス作業にあたりました。通常業務ではほとんど行わない作業が多くあり、特に車高調整式サスペンションの調整作業は改造車に限られた作業のため、慣れない様子でしたが、短い時間のなか懸命に調整していただき、良いバランスで走行することができました。また、ひとは2回目の参加でしたが、前回はドライバーの体調不良により練習走行や作業を全く経験できずに終わったため、今回の予定日程を遂行したうえでの完走を喜んでくれました。週末を通し、たびたびイレギュラーが発生する大変なレースでしたが、結果的に充実した時間を過ごしてもらうことができました。

次戦は9月の富士スピードウェイ大会で、クラッシュした新車両を修復し参戦する予定です。少し時間があるため、反省点の見直しも入念に行い、準備をしております。今大会も多くのご支援、ご声援をいただきありがとうございました。



ドライバー鶴賀のコメント



前大会のクラッシュを起こした瞬間は、再起不能にもなりかねないと思いましたが、社内外問わず多くのご支援をいただき、今大会もまたグリッドに立つことができました。今回の経験を通して、困難に直面したときに周囲の支えがどれほど大きな力になるかを深く実感しました。人の優しさとつながりの大切さを再認識し、メンタル面でも良い状態でレースに臨めたことがたしかな手応えのある完走に繋がったと思います。車両は一時入替えたものの、継続してパフォーマンスが着実に上がっているため、次戦も気を抜かず好結果に繋がれるよう頑張っております。今大会もたくさんのご声援や温かいメッセージをいただきありがとうございました。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。